

いさやま大介



プロフィール

市政を身近に

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年、2019年神戸市会選挙連続当選、現在2期目。
都市防災委員会所属。(2019年7月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。

発行元

共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館26階
TEL 078-322-5845 FAX 078-322-6171

Vol.16

任期ずれが解消！2期目がスタートしました！

阪神・淡路大震災後、選挙期日から議員任期開始までの間、約2か月の「ずれ」が生じていましたが、「議員任期特例法」が制定され、今回の任期満了日を、震災前と同じ日に戻すこととなりました。現在の議員の任期のみ、通常の4年ではなく約3年10カ月となります。

私、いさやま大介は政党に所属していません。

いわゆる無所属という立場ですが、議会内グループ(会派)を形成し活動しています。

神戸市が抱える様々な問題を、新しい発想を取り入れて、未来志向の政策を提案し続けていきます。



左：いさやま大介(無所属・灘区)
右：前島浩一(国民民主・西区)

議会質疑報告

2月の代表質疑で取り上げました「8050問題」、いわゆる「大人のひきこもり問題」※に関連した質疑が、6月議会本会議でされました。(以下、市長答弁)

現在「ひきこもり地域支援センター」を開設しているが、対象となる人数に対して相談員の人数が少ないなど十分な対応ができていない。したがって、保健福祉局中心にさらに庁内で議論し、各部署で情報連携をはかること。また、潜在的なひきこもりの人にも対応すべく専門家による有識者会議を早期に設置することを目指す。

※内閣府は、「ひきこもり」の40～64歳が、全国で推計61万3千人いるとの調査結果を発表した。
15～39歳の推計54万1千人を上回り、ひきこもりの高齢化、長期化が鮮明になった。

